死後の世界は有るか無いか

宮本百合子

主観的にはなしと思う。けれどもその人の生活した真実性、直接性の如何によって、客観的に、人類の裡に永久に、または或る期間、生きるものであると思う。

〔一九二二年四月〕

底本：「宮本百合子全集　第十七巻」新日本出版社
１９８１（昭和56）年３月20日初版発行
１９８６（昭和61）年３月20日第４刷発行
初出：「婦人世界」
１９２２（大正11）年４月号
入力：柴田卓治
校正：磐余彦
２００３年９月15日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、

校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。